

「学んで脳活」

永井 邦子

シスター・ニダによる聖書クラスは、四福音書に共通しているテーマ毎に読み比べ、かつ、それに関連している旧約進聖書の箇所を読み、シスターのお話や質問をしながら進められます。

該当する箇所を次々とめくっていかなくてはなりません。あの分厚い聖書と格闘しながら、アブラも水分もぬけきった、スルメのようにひからびた指先で、超薄いページをめくること、なんと難儀なことか！その上、ピントのボケた眼をしょぼつかせながら、アリンコのような小さな文字、しかもその文字の右肩にアブラ虫のようにはりつく数字を見つけないと、なんと骨の折れることといったら・・・。

早く目的箇所を辿りついた人が、「(新)116ページ、上の段のまん中へん」などと助け舟を出すのですが、読む番がまわってきて、まだ見つけられない時は、更に焦りも手伝って「アー、次のページやわ」その一枚がピツタリとくっついて「はがせるものなら、はがしてみな」と、おちよくらんばかりにめくれなれないのです。と、まあこんな情景が毎回くりひろげられております。

ともあれ、このような聖書の読み方は、私には初めてのことで、シスターのお話をきいて「目からウロコ」の気づきもあつてとても貴重な時間となっています。「この頃、モノ忘れがひどくて：」など深刻になっていらっしやるあなた、是非のぞいてみて下さい。

聖書の勉強と脳活の一石二鳥のクラスですよ。

「ハレルヤの風に乗って」

岩崎 多瑞子

「ご復活祭に、メリノールハウスでバーベキューをしましょう！」シスターのお誘いの言葉に乗って、私たち―聖書講座が中心のグループは、メリノールハウスの緑の芝生に出かけました。

お御堂では、ソ神父様がミサを行われました。

祭壇には、満開の八重桜が飾られています。

復活祭の喜びを余すところなく表しているようでした。

シスターたちを含めて、10数名の方々の歌声

が流れました。この場所は、芝生も、建物も、

歴史の重みをしっかりと伝えていました。

喜びとやすらぎに満ちたところでした。ここ

で多くの神父様が集われ、年間を通じて信徒た

ちのためにもいろいろ催しが行われました。

その時間の経過が私たちのグループをもやさしく包み込んでいたように思いました。

ミサ後、湖面近くの木陰にテール椅子を運び、バーベキューならぬ持ち寄ったいろいろなご馳走が私たちをいざなってくれました。湖面を渡りくる風はやわらかくハレルヤそのもののようでした。

持ち寄ったキンカンを口に含み、湖面に向かって種を吹き飛ばしたり、まるで童心に返ったようで、さわやかな時を満喫しました。

写真撮影があつたり、初めての出会いの人とも話を交わしたり、満ち足りた時に私たちは、大きな喜びを感じました。

計画をしてくださった神父様、シスター方にご復活おめでとうございます、と心より申し上げます。

